

# 平成20年度 神田事業所かんだ連雀 事業計画概要

前年の概況

<p>1 入所系サービス</p> <p>《特別養護老人ホーム》 利用率94%。(前年比1%減)</p> <p>① 小グループのメリットをいかしたユニット的ケア ② ご利用者おひとりおひとりへの細やかな配慮のできるサービス提供 ③ 重度化に対応するため、さらなる医療機関との連携強化 ④ 食事配膳・家事業務等への人的環境整備 《ショートステイ》 利用率、空床を含め105%(前年比10%増)</p> <p>2 在宅系サービス</p> <p>《地域包括支援センター》 ① 包括的支援事業、介護保険事業の職員分担化 ② 虐待防止へ向けての取り組み、</p>
---

本年重点ポイント
<p>1 サービスの質の向上</p> <p>① 生活に密着した施設サービス計画書の作成 ② アセスメント、モニタリングの徹底 ③ ご利用者の状態に応じたフロアづくりと職員のうごきの見直し ④ 会議の充実と業務分担の整理</p> <p>2 職員採用・育成・定着への努力 安心して働くことのできる環境づくり</p> <p>① チャレンジプラン ② サービス(自己)評価 ③ 福祉サービス第三者評価</p> <p>3 職員研修</p> <p>① 感染症対策 ② 安全衛生管理 ③ 事故防止 ④ 認知症の理解とケア</p> <p>4 マナー向上</p> <p>① ご利用者への言葉づかい ② 職員間での言葉</p>

		対利用者	職員・業務
運営・管理	事務局担当	1 施設の窓口としての雰囲気づくり 2 間違いのない請求事務 3 丁寧な電話応対	1 神田事業所としての事務部門の連携 2 業者契約に関する処理の確実な遂行 3 法人事務局との連携のもと、経理・介護請求・勤怠管理を効率的執行
	サービス向上	1 職能要件表に基づく、職員各々のレベルアップを通じた、ケアの質の向上 2 サービス自己評価への取り組みに基づく、施設ケア提供の環境整備 3 地域の社会資源をご利用者へ還元	1 人材育成及び研修への取り組み 2 サービス自己評価～事業報告～事業計画へのトータルな取り組み 3 施設運営協会からの助言、及び意見交換
支援センター	地域包括	1 相談にみえた方の不安を取り除く 2 地域に暮らすお年よりを虐待から守る。また、早期発見と早急な対応 3 特定高齢者へのプラン提供	1 総合相談の初期対応後のフォロー方法の流れを確立 2 虐待防止についての普及・啓発及び区への報告、その後の流れをつくる 3 後期高齢者医療の実施に伴う特定高齢者プランについて区と協議しながら確立
	居支	1 丁寧な、制度・居宅サービス計画の説明 2 ご利用者に対する誠実な対応 3 サービス提供事業所との連携強化	1 内部・外部研修への積極的参加 2 ちよだケアマネ連絡会参加だけにとどまらない意見の発信 3 多職種・他事業所との連携強化
センター	デイ	1 定期的なモニタリング 2 的確なニーズの把握による、実情にあった通所介護計画書作成とサービスの提供 3 利用者数の増加により、多種・多様化したニーズへの対応	1 通所介護計画書の更新・見直しの徹底 2 ご利用者様やそのご家族様との積極的な情報共有化と、サービス担当者会議への参加 3 職員のスキルアップを図るため、積極的に研修に参加

課題

<p>1 事故防止と衛生管理</p> <p>指針の整理、委員会の開催・活動</p> <p>① リスクマネジメント ② 身体拘束廃止 ③ 褥瘡予防 ④ 感染症予防 ⑤ 労働安全・衛生管理</p> <p>2 法令順守</p> <p>① 法令の理解 ② 法令に沿った事業展開</p> <p>3 人材育成</p> <p>① 研修体制 ② OJT</p> <p>4 サービス評価</p> <p>① サービス自己評価の評価値向上 ② 第三者評価を通じた業務改善 ③ 千代田区保健福祉オンブズパーソン制度の活用</p> <p>5 地域福祉</p> <p>① 地域交流 町内会行事等への参加 ボランティア 防災協定・・・地域の防災訓練への参加</p>
---

全体を通じた考え方
<p>1 神田事業所(岩本町ほほえみプラザ・かんだ連雀の総称)としての連携を生かし、要支援者から重度介護者まで、幅広い対象者へトータルなサービス提供をしていく。</p> <p>2 その際、地域包括支援センターを窓口、初期相談から、在宅サービス提供、施設入所にいたるまで、継続的支援ができるよう、神田事業所内の連携を強化していく。</p> <p>3 また、特養入所にあたっては、受付から名簿管理を含め、入所判定まで、継続的な対応をとる体制を固めてゆく。</p> <p>4 介護業界全体の人材難という課題に</p>

ホーム	特養	<p>《特別養護老人ホーム》</p> <p>1 ご利用者ご家族、一人ひとりの要望を反映したケアの提供 2 食事・入浴・排泄・移動、それぞれの場面で、個別の状況に沿った個別のケア 3 入所受付～名簿管理～入所判定の流れの確立</p> <p>《ショートステイ》</p> <p>1 ご利用者個々の要望を反映した受け入れ体制の提供 2 ご自宅での生活環境との継続性を考慮した短期入所生活介護計画書の提案 3 ご利用者が落ち着ける環境の提供</p>	<p>《特別養護老人ホーム》</p> <p>1 ケアプランを反映した取り組みと計画的なモニタリング 2 各会議の充実と実行 3 寄り添う</p>
	看護	<p>1 日常生活から看取りまで、体調の変化に適切に対応 2 感染予防対策の更なる周知徹底 3 緊急時の対応・口腔ケアの強化</p>	<p>1 ケアプラン・担当者会議への積極的な発言と外部医療機関との連携 2 予防接種・検便の確実な実施と、感染予防についての研修、情報提供、日々の啓蒙活動 3 職員の健康管理及び知識・技術の向上</p>
連携	食事	<p>1 目で楽しめる食事の提供 2 ソフト食を中心とした行事食の提供 3 安全な食材を使った食事の提供</p>	<p>1 ソフト食の勉強会・試食会の実施 2 職員技術の向上・連携と業務の効率化 3 安全の追求</p>
	高齢者住宅	<p>1 相談業務 月～金曜日(午前9時～午後4時) 2 安否確認 3 関係機関との連携 4 交流 5 業務時間外の緊急対応</p>	<p>1 茶話会 偶数月第3水曜実施 2 地域交流:町会日帰り旅行・茶話会・夏祭り・地域防災訓練参加・地域行事参加・新年会 3 月次事業 セラバンド体操他</p>